

令和元年度

宮崎県立延岡病院
年報

宮崎県立延岡病院

〒882-0835

宮崎県延岡市新小路2-1-10

電話(代) (0982) 32-6181

FAX (0982) 32-6759

理 念

患者さん本位の良質で安全な医療の提供

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、理解と納得に基づく安全で信頼される医療を行い、患者さんの立場に立った医療の提供に努めます。
2. 高度で先進的な医療に取り組み、地域の中核病院として質の高い医療の提供に努めます。
3. 二次・三次救急医療に取り組み、公立病院として地域住民が安心できる医療の確保に努めます。
4. 地域の医療機関との連携と地域社会に密着した保健医療活動を進め、開かれた病院として地域の保健・医療の向上に努めます。
5. 医療従事者として常に知識・技術を高め、質の高い医療の提供に努めます。

患者憲章

県立延岡病院は、病院の理念に則り、医療の中心は患者さんのためであることを深く認識し、一人一人の患者さんに次のような権利と責務があることを宣言します。

1. 良質な医療を平等に受ける権利
社会的地位、人種、信条等を問わず、安全に配慮した良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 知る権利
病気、検査、治療、予後等について、理解しやすい言葉などで納得できるまで、十分な説明を受ける権利があります。
3. 自己決定権
医療を受ける際、十分な説明を受けた上で受けるかどうかを自分で決定する権利があります。
4. 尊厳性への権利
どのような時でも人格を尊重され、尊厳をもって医療を受けることができます。
5. プライバシー保護の権利
病院関係者が知り得た全ての個人情報について、保護を受ける権利があります。
6. 責務
 - (1) 以上の権利を守るため、医師及び医療従事者と力を合わせて医療に参加・協力する責任があります。
 - (2) 院内の秩序と快適な療養環境を守るため、院内の諸規則を遵守する責任があります。

まえがき

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界中を震撼させる中、如何ともし難い窮屈な生活が強いられていますが、我々医療の世界に身を奉じる者にとっては、感染拡大防止に努める一方で、常日頃の医療責務に立ち向かっていかなければなりません。

当院は、昭和23年9月に開院し、歴代の院長のもと、宮崎県北地区の中核病院として2次、3次医療に貢献を続けて参りました。医療の世界を紐解くと、医師をリーダーとする診療、そして看護、薬剤、臨床検査、放射線、リハビリテーション、臨床工学、栄養管理、医療事務など多くの部門から構成されています。それぞれの職務に就く医療人が研ぎ澄まされたスキルを持って結集することで、チーム力が発揮され、本院の理念である「良質で安全な医療の提供」が可能になるものと確信しています。

この「年報」は、令和元年度の「病院概要」並びに常日頃の職務遂行の結果である「医療実績」に加え、忙殺された日々の勤務の中、各職員が寸暇を惜しんで、知識の習得と技術の向上を目指して自己研鑽を積んできたものを学会発表や論文発表として形に表した「研究業績」から構成されています。当院で勤務する医療人達の「理路整然とした科学」の1ページを垣間見て頂けたら幸いです。

医療とは、理路整然とした科学と、心溢れる情熱の融合である。

令和2年7月

宮崎県立延岡病院・第8代院長 寺尾公成

【歴代院長】

初代	船渡 護	昭和24年 1月	—	昭和59年12月	内科
2代	永田 高見	昭和59年12月	—	平成9年 3月	整形外科
3代	本田 正之	平成9年 4月	—	平成15年 3月	産婦人科
4代	小川 道雄	平成15年 4月	—	平成17年 3月	外科
5代	中原 莊	平成17年 4月	—	平成19年 3月	脳神経外科
6代	楠元 志都生	平成19年 7月	—	平成26年 3月	放射線科
7代	柳邊 安秀	平成26年 4月	—	平成31年 3月	小児科
8代	寺尾 公成	平成31年（令和元年）4月	—	現在	産婦人科

目 次

第1章 病院概要

1. 病院事業の執行状況	1
2. 主な沿革	2
3. 現況	2
4. 病院組織機構図	3
5. 委員会等組織機構図	4
6. 職員数調	5

第2章 医療実績

1. 入院・外来患者数	6
2. 救急患者受入状況	7
3. 手術件数	8
4. 周産期件数	9
5. 透析件数	9
6. 剖検件数・臨床検査件数	9
7. 放射線件数	10
8. 薬剤関係件数	11
9. リハビリテーション件数	12
10. 臨床工学関連件数	13
11. 患者食数	13

第3章 研究業績

1. 内科	14
2. 循環器内科	20
3. 小児科	24
4. 外科	25
5. 整形外科	28
6. 呼吸器外科	32
7. 心臓血管外科	34
8. 泌尿器科	37
9. 産婦人科・周産期科	38
10. 放射線科	40
11. 歯科口腔外科	41
12. 麻酔科	42
13. 救命救急科	43
14. 病理診断科	46
15. リハビリテーション科	47
16. 臨床検査科	48
17. 栄養管理科	50
18. 臨床工学科	51
19. 薬剤部	52
20. 看護部	53
21. 県立延岡病院学会	59
22. 県民健康講座	62
23. チーム医療セミナー	63

第1章 病院概要

1. 病院事業の執行状況

事業執行状況

当院は、県北地域における高度医療や救急医療を提供する中核病院として、また、地域完結型医療の提供を目指す地域医療支援病院として、さらには地域災害拠点病院として、その役割を果たすことが求められており、質の高い医療の提供とそれを支えるスタッフの確保・充実を図るとともに、住民が安心できる医療提供体制の整備、地域の医療機関との連携強化等に努めているところである。

経営面においては、収支均衡を確保するため、重症患者を中心に受け入れる急性期病院に認められる急性期一般入院料1（旧7：1入院基本料）や特定集中治療室管理料（ICU）等の施設基準の維持、診断群分類別包括評価制度（DPC制度）を導入した病院に与えられる医療機関別係数の上昇への取り組み、DPCデータ分析による効率的診療の追求や請求内容の改善等を図るとともに、後発医薬品（ジェネリック）の採用促進や診療材料の共同購入品への切り替えなど積極的な経費節減に取り組んでいる。

こうした中、令和元年度は、内科で急性白血病等の患者が減じたこと、皮膚科で常勤医師が2名減じたことなどにより入院・外来患者数が減少したものの、手術料の増や新たな施設基準の取得などによる入院収益の増、化学療法の増などによる外来収益の増などにより病院事業収益は12,283,049千円となり、平成30年度に比べ321,273千円の増加となった。

病院事業費用については、高額な抗がん剤使用の増による薬品費の増、心臓血管外科の手術件数増などによる診療材料費の増などにより12,074,133千円となり、平成30年度に比べ、602,033千円の増加となった。この結果、令和元年度の損益は208,916千円の黒字を確保したが、前年度と比較すると280,760千円の減となった。

ア. 患者の利用状況

患者数は、延入院患者数111,691人（1日平均305人）、延外来患者数101,233人（1日平均422人）で、前年度に比べ、入院については2,181人（1日平均7人）の減、外来については2,203人（1日平均2人）の減となった。

イ. 収支の状況

収支（損益）は、総収益12,283,048,655円、総費用12,074,132,916円となり、差引208,915,739円の当年度純利益を計上した。

ウ. 施設の整備状況

施設の整備については、本館屋根防水工事及び空調用自動制御設備の更新を行ったほか、外来に公衆無線LANを導入し患者サービスの向上を図った。また、医療機械では、X線血管造影装置や重症患者集中管理システムなどの更新を行った。

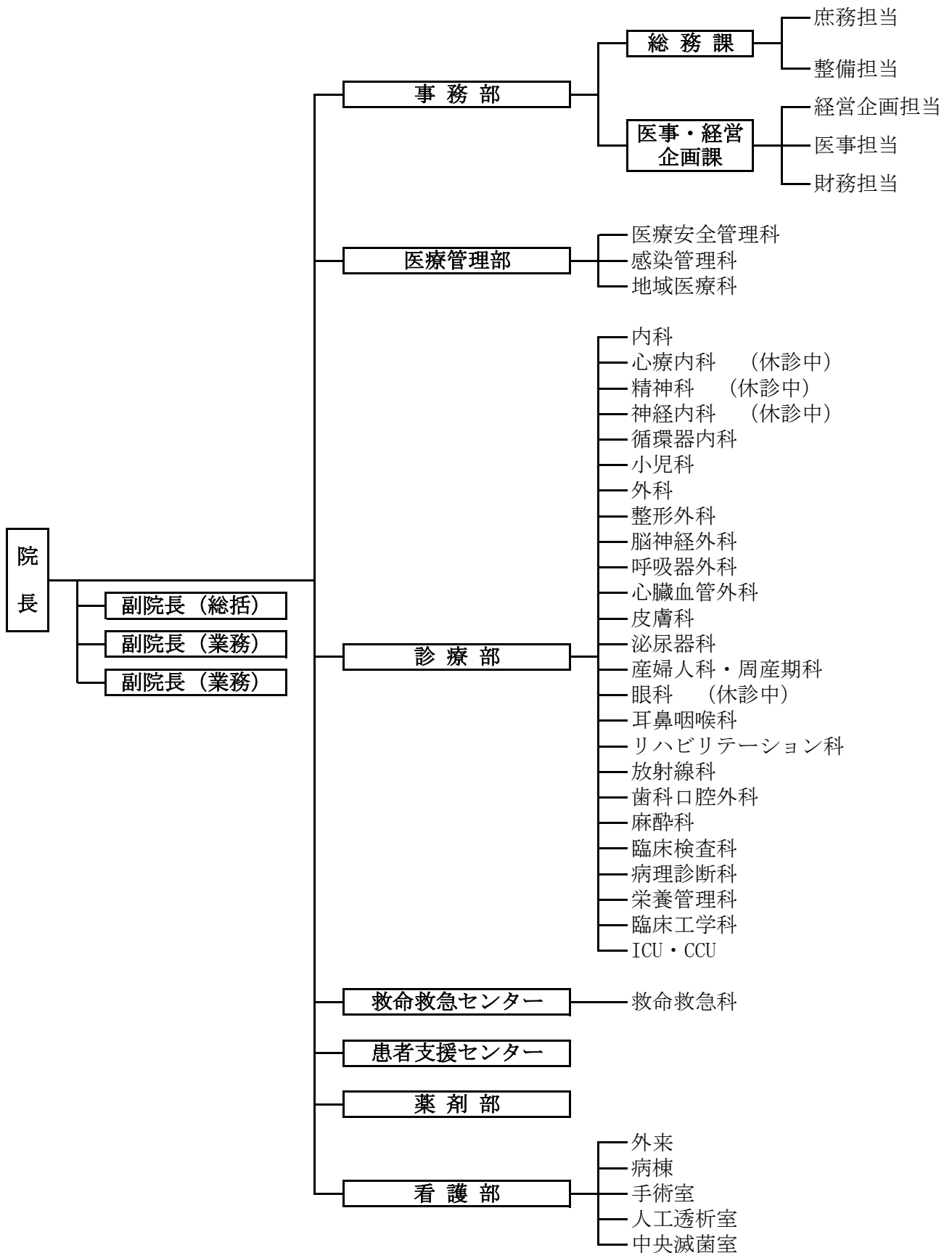
2. 主な沿革

昭和23年 9月	延岡市浄満町にあった日本医療団延岡病院を買収して開院
昭和24年12月	済生会延岡病院及び旧延岡保健所の両施設を利用して現在地に移転、診療科2科（内科、外科）病床数42床（一般）
昭和25年 2月	産婦人科を増設
5月	耳鼻咽喉科、眼科を増設
昭和31年 6月	小児科、整形外科、皮膚泌尿器科、歯科を増設
昭和44年 4月	脳神経外科を増設
昭和54年 3月	許可病床数を460床（一般420床、伝染40床）に変更
平成 9年11月	心臓血管外科、精神科を増設
平成10年 4月	リハビリテーション科を増設 救命救急センターに指定された
平成10年 7月	全面改築工事竣工
平成11年 4月	心療内科を増設 感染症新法施行に伴い伝染病床40床を廃止し、病床数を460床（一般456床、感染4床）に変更
平成12年 3月	全ての診療科で院外処方せんの発行を開始
平成14年 5月	循環器科を増設
平成17年 1月	財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定を受けた
4月	救命救急科を設置
平成18年 5月	電子カルテシステムが稼働
11月	地域医療支援病院の承認を受けた
12月	一般病棟7対1入院基本料を取得
平成20年 1月	敷地内禁煙の開始
4月	D P C対象病院となり、D P C請求を開始 地域周産期母子医療センターに認定された
平成22年 4月	臨床工学科及び病理診断科を設置
平成24年 3月	病児等保育施設が完成（4月保育開始）
平成25年 2月	新電子カルテシステムが稼働
3月	屋上ヘリポートを備えた救命救急センターが竣工
平成27年 4月	入院支援センター及び感染管理科を設置
平成28年 7月	診療科23科（呼吸器外科新設）となる
平成31年 3月	心臓カテーテル室2室、ハイブリッド手術室1室（未整備）を備えた心臓脳血管センターが竣工 許可病床数を410床（一般406床、感染4床）に変更

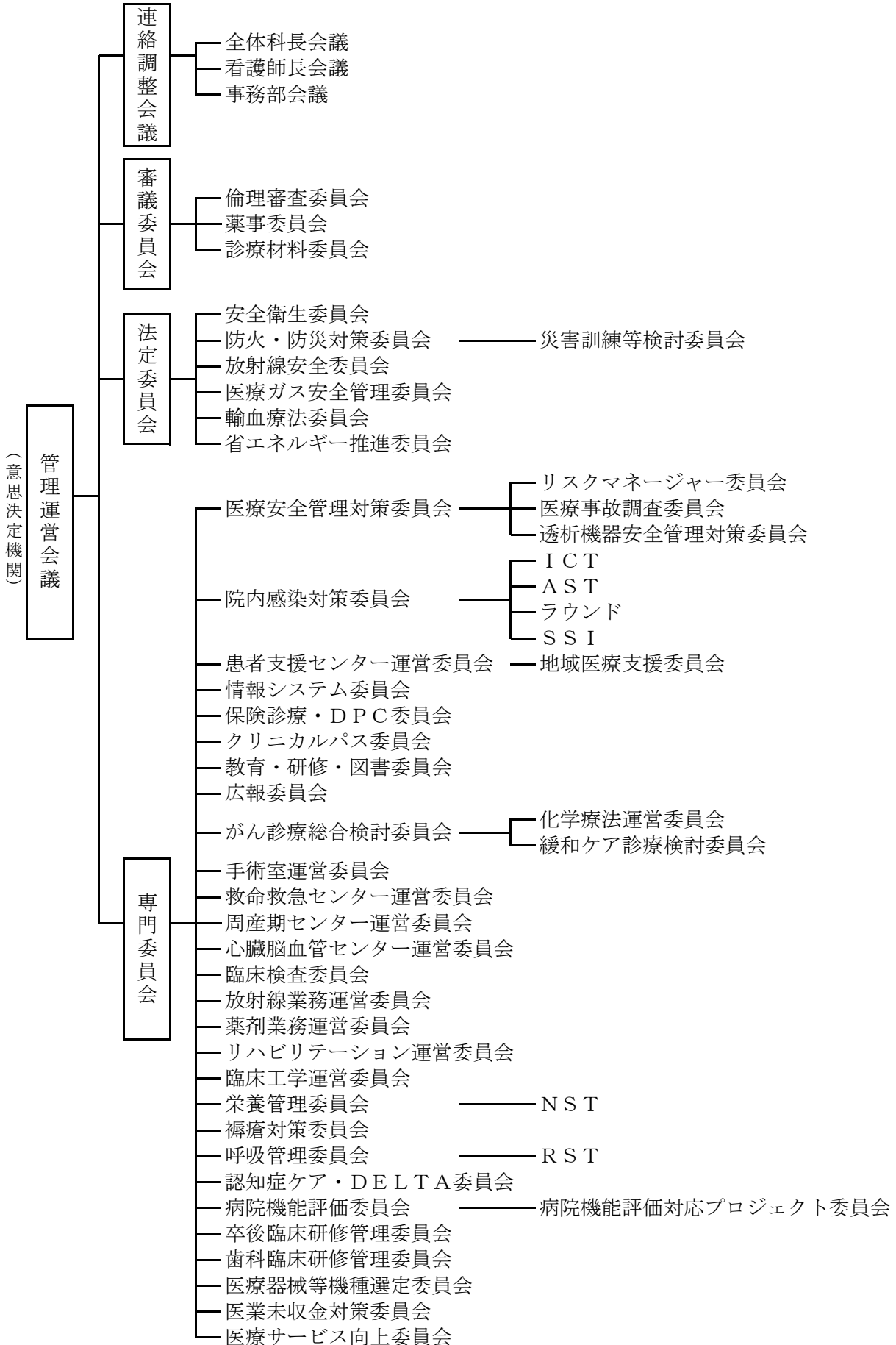
3. 現 況 （令和2年3月31日現在）

所在地	〒882-0835 宮崎県延岡市新小路2-1-10
開設年月日	昭和23年9月1日
病床数	一般406床 感染4床 合計410床
施設の規模	土地 …31,245.07 m ² 建物 …35,233.59 m ² 駐車場 … 外来用：327台 職員用：240台
標榜診療科	内科、心療内科、精神科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、臨床検査科、病理診断科 （計23診療科 心療内科、精神科、神経内科、眼科は休診中）
診療報酬	急性期一般入院基本料1 総合入院体制加算3 特定集中治療室管理料3（ICU） 新生児特定集中治療室管理料2（NICU） 医師事務作業補助体制加算2（50対1）等

4. 病院組織機構図 (令和2年5月1日現在)



5. 委員会等組織機構図 (令和2年5月1日現在)



6. 職員数調

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減数 (R1・R2比較)
医 師	55	56	58	2
歯 科 医 師	2	3	3	0
薬 剤 師	16	17	17	0
診療放射線技師	16	16	16	0
臨床検査技師	18	20	20	0
管理栄養士	5	7	6	▲ 1
臨床工学技士	9	9	9	0
理学療法士	9	9	9	0
作業療法士	4	4	4	0
言語聴覚士	2	2	3	1
看護 師	379	380	375	▲ 5
事 務 員	11	11	11	0
合 計	526	534	531	▲ 3
臨床研修医（実数）	30	35	33	▲ 2

※ 各年度5月1日時点（臨床研修医を除く）

第2章 医療実績

1. 入院・外来患者数

(単位：人)

区 分		入 院				外 来			
		平成30年度 (A) 365日	令和元年度 (B) 366日	対前年度比較		平成30年度 (a) 244日	令和元年度 (b) 240日	対前年度比較	
				増減数 (B-A)	増減率 (B/A)			増減数 (b-a)	増減率 (b/a)
内科	延数	31,198	29,884	-1,314	95.8%	18,575	19,665	1,090	105.9%
	1日平均	85.5	81.7	-3.8	95.5%	76.1	81.9	5.8	107.6%
心療内科 ・精神科	延数	0	0	0	-	0	0	0	-
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	-
神経内科	延数	0	0	0	-	0	0	0	-
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	-
循環器 内科	延数	10,868	12,243	1,375	112.7%	9,263	9,805	542	105.9%
	1日平均	29.8	33.5	3.7	112.3%	38.0	40.9	2.9	107.6%
小児科	延数	3,646	3,104	-542	85.1%	6,467	6,000	-467	92.8%
	1日平均	10.0	8.5	-1.5	84.9%	26.5	25.0	-1.5	94.3%
外科	延数	12,385	13,058	673	105.4%	8,366	9,812	1,446	117.3%
	1日平均	33.9	35.7	1.7	105.1%	34.3	40.9	6.6	119.2%
呼吸器 外科	延数	3,894	3,151	-743	80.9%	2,203	2,635	432	119.6%
	1日平均	10.7	8.6	-2.1	80.7%	9.0	11.0	2.0	121.6%
整形外科	延数	15,491	15,230	-261	98.3%	11,256	9,582	-1,674	85.1%
	1日平均	42.4	41.6	-0.8	98.0%	46.1	39.9	-6.2	86.5%
脳神経 外科	延数	9,672	9,066	-606	93.7%	3,546	3,451	-95	97.3%
	1日平均	26.5	24.8	-1.7	93.5%	14.5	14.4	-0.2	98.9%
心臓血管 外科	延数	2,899	3,490	591	120.4%	3,149	2,897	-252	92.0%
	1日平均	7.9	9.5	1.6	120.1%	12.9	12.1	-0.8	93.5%
皮膚科	延数	1,182	0	-1,182	0.0%	6,530	4,028	-2,502	61.7%
	1日平均	3.2	0.0	-3.2	0.0%	26.8	16.8	-10.0	62.7%
泌尿器科	延数	2,385	2,255	-130	94.5%	4,456	4,527	71	101.6%
	1日平均	6.5	6.2	-0.4	94.3%	18.3	18.9	0.6	103.3%
産婦人科 ・周産期科	延数	14,226	14,408	182	101.3%	6,449	6,727	278	104.3%
	1日平均	39.0	39.4	0.4	101.0%	26.4	28.0	1.6	106.0%
眼科	延数	0	0	0	-	45	72	27	160.0%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.2	0.3	0.1	162.7%
耳鼻咽喉科	延数	1,883	1,250	-633	66.4%	4,771	3,855	-916	80.8%
	1日平均	5.2	3.4	-1.7	66.2%	19.6	16.1	-3.5	82.1%
放射線科	延数	0	0	0	-	2,903	2,978	75	102.6%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	11.9	12.4	0.5	104.3%
歯科 口腔外科	延数	1,728	1,151	-577	66.6%	13,093	12,986	-107	99.2%
	1日平均	4.7	3.1	-1.6	66.4%	53.7	54.1	0.4	100.8%
救命救急科	延数	2,415	3,401	986	140.8%	2,365	2,213	-152	93.6%
	1日平均	6.6	9.3	2.7	140.4%	9.7	9.2	-0.5	95.1%
計	延数	113,872	111,691	-2,181	98.1%	103,437	101,233	-2,204	97.9%
	1日平均	312.0	305.2	-6.8	97.8%	423.9	421.8	-2.1	99.5%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の患者数を集計。

※ 一日平均患者数は小数点第2位を四捨五入。

2. 救急患者受入状況

(単位：件)

区 分				平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度比較	
						増減数 (B-A)	増減率 (B/A)
平日・ 時間内	へり	転 搬	入院	11	8	-3	72.7%
			外来	1	1	0	100.0%
		直 搬	入院	13	14	1	107.7%
			外来	2	3	1	150.0%
		計	入院	24	22	-2	91.7%
			外来	3	4	1	133.3%
	救急車	転 搬	入院	520	503	-17	96.7%
			外来	68	66	-2	97.1%
		直 搬	入院	207	259	52	125.1%
			外来	101	93	-8	92.1%
		計	入院	727	762	35	104.8%
			外来	169	159	-10	94.1%
	そ の 他	入院	197	197	0	100.0%	
		外来	92	60	-32	65.2%	
合 計	入院	948	981	33	103.5%		
	外来	264	223	-41	84.5%		
休日・ 夜間	初期救急 医療施設 より転送	へ り	入院	7	3	-4	42.9%
			外来	2	0	-2	0.0%
		救 急 車	入院	493	549	56	111.4%
			外来	91	73	-18	80.2%
		そ の 他	入院	308	253	-55	82.1%
			外来	199	184	-15	92.5%
	計	入院	808	805	-3	99.6%	
		外来	292	257	-35	88.0%	
	紹介無し	へ り	入院	10	10	0	100.0%
			外来	1	1	0	100.0%
		救 急 車	入院	941	1,000	59	106.3%
			外来	762	673	-89	88.3%
		そ の 他	入院	553	608	55	109.9%
			外来	1,623	1,318	-305	81.2%
計	入院	1,504	1,618	114	107.6%		
	外来	2,386	1,992	-394	83.5%		
合 計	入院	2,312	2,423	111	104.8%		
	外来	2,678	2,249	-429	84.0%		
総 計		入院	3,260	3,404	144	104.4%	
		外来	2,942	2,472	-470	84.0%	
		計	6,202	5,876	-326	94.7%	

※ 各年度（4月1日～3月31日）の救急患者数を集計。

※ 休日は土日祝日の8:30～翌8:29、夜間は平日の17:00～翌8:29、平日・時間内は平日の8:30～16:59として集計。

3. 手術件数

(単位：件)

区 分		平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度 増減率 (B/A)	区 分		平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度 増減率 (B/A)
内科	5,000点未満	89	91	102.2%	皮膚科	5,000点未満	182	46	25.3%
	5,000～19,999点	177	186	105.1%		5,000～19,999点	27	2	7.4%
	20,000点以上	18	15	83.3%		20,000点以上	5	0	0.0%
	計	284	292	102.8%		計	214	48	22.4%
心療内科 ・精神科	5,000点未満	0	0	-	泌尿器科	5,000点未満	98	72	73.5%
	5,000～19,999点	0	0	-		5,000～19,999点	75	64	85.3%
	20,000点以上	0	0	-		20,000点以上	99	86	86.9%
	計	0	0	-		計	272	222	81.6%
神経内科	5,000点未満	0	0	-	産婦人科 ・周産期科	5,000点未満	134	149	111.2%
	5,000～19,999点	0	0	-		5,000～19,999点	157	135	86.0%
	20,000点以上	0	0	-		20,000点以上	330	321	97.3%
	計	0	0	-		計	621	605	97.4%
循環器 内科	5,000点未満	76	118	155.3%	眼科	5,000点未満	0	0	-
	5,000～19,999点	165	196	118.8%		5,000～19,999点	0	0	-
	20,000点以上	451	460	102.0%		20,000点以上	0	0	-
	計	692	774	111.8%		計	0	0	-
小児科	5,000点未満	2	3	150.0%	耳鼻咽喉科	5,000点未満	139	121	87.1%
	5,000～19,999点	10	9	90.0%		5,000～19,999点	41	40	97.6%
	20,000点以上	0	0	-		20,000点以上	29	38	131.0%
	計	12	12	100.0%		計	209	199	95.2%
外科	5,000点未満	86	93	108.1%	放射線科	5,000点未満	0	0	-
	5,000～19,999点	465	451	97.0%		5,000～19,999点	0	0	-
	20,000点以上	316	363	114.9%		20,000点以上	0	0	-
	計	867	907	104.6%		計	0	0	-
呼吸器 外科	5,000点未満	19	26	136.8%	歯科 口腔外科	5,000点未満	1,764	1,765	100.1%
	5,000～19,999点	12	9	75.0%		5,000～19,999点	22	17	77.3%
	20,000点以上	127	139	109.4%		20,000点以上	6	10	166.7%
	計	158	174	110.1%		計	1,792	1,792	100.0%
整形外科	5,000点未満	240	241	100.4%	救命救急科	5,000点未満	163	200	122.7%
	5,000～19,999点	532	581	109.2%		5,000～19,999点	3	9	300.0%
	20,000点以上	315	281	89.2%		20,000点以上	4	16	400.0%
	計	1,087	1,103	101.5%		計	170	225	132.4%
脳神経 外科	5,000点未満	44	47	106.8%	計	5,000点未満	3,102	3,086	99.5%
	5,000～19,999点	51	74	145.1%		5,000～19,999点	1,795	1,848	103.0%
	20,000点以上	141	114	80.9%		20,000点以上	1,994	2,049	102.8%
	計	236	235	99.6%		計	6,891	6,983	101.3%
心臓血管 外科	5,000点未満	66	114	172.7%					
	5,000～19,999点	58	75	129.3%					
	20,000点以上	153	206	134.6%					
	計	277	395	142.6%					

※ 各年度（4月1日～3月31日）の保険点数上、手術として取扱った件数を集計。

4. 周産期件数

(単位：人)

区 分	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度比較	
			増減数 (B - A)	増減率 (B / A)
経膈分娩	181	185	4	102.2%
帝王切開	116	112	-4	96.6%
合計	297	297	0	100.0%
周産期センター入院数	156	159	3	101.9%

※ 各年度（4月1日～3月31日）で集計。

5. 透析件数

(単位：人、件)

区 分		平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (B - A)	増減率 (B / A)
人工透析 (透析台数：10台)	実患者数	163	189	26	116.0%
	延透析回数	1,493	1,591	98	106.6%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の透析患者数、件数を集計

※ 透析台数は平成31年3月31日現在。

6. 剖検件数・臨床検査件数（委託・受託検査を除く）

(単位：件)

区 分		平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (B - A)	増減率 (B / A)
剖 検 件 数		10	13	3	130.0%
臨 床 検 査	一 般 検 査	23,005	21,609	-1,396	93.9%
	血 液 検 査	153,012	153,970	958	100.6%
	微 生 物 検 査	23,038	21,428	-1,610	93.0%
	輸 血 検 査	20,888	22,922	2,034	109.7%
	生 化 検 査	915,234	945,235	30,001	103.3%
	病 理・細 胞 診 検 査	13,031	14,531	1,500	111.5%
	生 理 検 査	19,403	20,456	1,053	105.4%
	合 計	1,167,611	1,200,151	32,540	102.8%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の件数を集計。

7.放射線件数

(単位：人、件)

区 分			平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (B - A)	増減率 (B / A)
直接撮影	単純	延患者数	43,088	44,214	1,126	102.6%
		延件数	56,382	56,553	171	100.3%
	造影	延患者数	713	853	140	119.6%
		延件数	2,300	3,206	906	139.4%
特殊撮影	血管造影	延患者数	1,231	1,196	-35	97.2%
		延件数	17,051	20,888	3,837	122.5%
	C T	延患者数	13,041	12,536	-505	96.1%
		延件数	30,405	30,032	-373	98.8%
	R I	延患者数	382	651	269	170.4%
		延件数	2,496	4,133	1,637	165.6%
	MR I	延患者数	2,427	2,465	38	101.6%
		延件数	21,141	17,860	-3,281	84.5%
放射線治療	リニアック	延患者数	4,273	4,498	225	105.3%
		延件数	9,705	9,990	285	102.9%
	その他	延患者数	178	191	13	107.3%
		延件数	178	191	13	107.3%
その他		延患者数	3,412	4,337	925	127.1%
		延件数	3,412	4,337	925	127.1%
合計		延患者数	68,745	70,941	2,196	103.2%
		延件数	143,070	147,190	4,120	102.9%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の患者数、件数を集計。

※ 件数については、直接撮影は曝射回数を、特殊撮影は撮影方向数を計上。

※ その他については、骨塩定量、医用画像の提供等上記のいずれにも属さないものを計上した。

8. 薬剤関係件数

(単位：件)

区 分			平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度比較		
					増減数 (B - A)	増減率 (B / A)	
調 剤 件 数	調 内用	入 院	83,323	86,833	3,510	104.2%	
		外 来	7,658	7,032	-626	91.8%	
		計	90,981	93,865	2,884	103.2%	
	剤 外用	入 院	9,023	8,719	-304	96.6%	
		外 来	1,171	930	-241	79.4%	
		計	10,194	9,649	-545	94.7%	
	件 頓服	入 院	12,015	10,383	-1,632	86.4%	
		外 来	1,249	1,263	14	101.1%	
		計	13,264	11,646	-1,618	87.8%	
	数 計	入 院	104,361	105,935	1,574	101.5%	
外 来		10,078	9,225	-853	91.5%		
計		114,439	115,160	721	100.6%		
数 処方せん枚数 (枚)	入 院	49,740	50,884	1,144	102.3%		
	外 来	2,641	2,320	-321	87.8%		
	計	52,381	53,204	823	101.6%		
院 外 処 方 せ ん 発 行 枚 数 (枚)			34,078	32,756	-1,322	96.1%	
注 射 関 係	注射交付件数	入院注射せんによる交付 (枚)		72,696	69,347	-3,349	95.4%
		外来注射せんによる交付 (枚)		15,751	17,735	1,984	112.6%
	無菌調製件数	経中心静脈栄養	調製件数	287	204	-83	71.1%
			調剤件数	326	265	-61	81.3%
		入院患者抗がん剤	調製件数	1,985	2,122	137	106.9%
			調剤件数	3,315	3,544	229	106.9%
	外来患者抗がん剤	調製件数	2,463	3,034	571	123.2%	
		調剤件数	3,914	4,931	1,017	126.0%	
	伝 票 に よ る 薬 剤 交 付 件 数			76,576	81,493	4,917	106.4%
	製 剤 延 件 数			747	713	-34	95.4%
薬 物 血 中 濃 度 解 析 (T D M) 件 数			136	140	4	102.9%	
服 薬 指 導	指 導 患 者 数		3,525	4,761	1,236	135.1%	
	指 導 件 数		4,070	6,066	1,996	149.0%	
	薬 剤 管 理 指 導 件 数		3,969	6,011	2,042	151.4%	
	退 院 時 薬 剤 情 報 管 理 指 導 件 数		861	1,346	485	156.3%	
	が ん 患 者 指 導 管 理 件 数		149	229	80	153.7%	
特 定 薬 剤 管 理 指 導 料 2 算 定 件 数			317	431	317	136.0%	
持 参 薬 鑑 別 件 数			5,963	6,080	117	102.0%	

※ 各年度（4月1日～3月31日）の件数を集計。

9. リハビリテーション件数

(単位：件)

区 分			平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (B - A)	増減率 (B / A)
リ	運動器	理学療法	14,266	13,180	-1,086	92.4%
		作業療法	4,055	3,934	-121	97.0%
		言語療法	0	0	0	-
ハ	脳血管疾患等	理学療法	5,950	5,784	-166	97.2%
		作業療法	7,030	6,301	-729	89.6%
		言語療法	5,230	4,767	-463	91.1%
ビ	呼吸器	理学療法	2,141	2,353	212	109.9%
		作業療法	492	755	263	153.5%
		言語療法	0	0	0	-
リ	心大血管疾患	理学療法	3,884	5,892	2,008	151.7%
		作業療法	106	1,000	894	943.4%
		言語療法	0	0	0	-
テ	がん患者	理学療法	2,165	2,055	-110	94.9%
		作業療法	730	582	-148	79.7%
		言語療法	378	144	-234	38.1%
ー	廃用症候群	理学療法	4,223	4,871	648	115.3%
		作業療法	1,234	1,757	523	142.4%
		言語療法	27	67	40	248.1%
シ	摂食機能療法	理学療法	0	0	0	-
		作業療法	0	0	0	-
		言語療法	1,643	1,966	323	119.7%
ョ	初期加算	理学療法	15,314	18,074	2,760	118.0%
		作業療法	5,463	6,373	910	116.7%
		言語療法	2,775	2,761	-14	99.5%
ン	早期加算	理学療法	23,718	26,329	2,611	111.0%
		作業療法	9,018	10,219	1,201	113.3%
		言語療法	4,516	4,208	-308	93.2%
ン	総合評価	理学療法	1,899	2,014	115	106.1%
		作業療法	420	453	33	107.9%
		言語療法	79	50	-29	63.3%
処置	消炎鎮痛	理学療法	7	0	-7	0.0%
		作業療法	0	0	0	-
		言語療法	0	0	0	-
医学管理	退院時指導	理学療法	826	965	139	116.8%
		作業療法	135	175	40	129.6%
		言語療法	38	31	-7	81.6%
合 計		理学療法	74,393	81,517	7,124	109.6%
		作業療法	28,683	31,549	2,866	110.0%
		言語療法	14,686	13,994	-692	95.3%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の保険点数上、リハビリテーション料として取扱った件数を集計。

10. 臨床工学関連件数

(単位：件)

区分		令和元年度
保守点検部門	日常・返却時点検	1,862
	定期点検	682
	修理対応	471
	呼吸器使用中点検	292
手術部門	人工心肺業務	49
	脳神経外科手術支援(MEP/SEP)	12
	手術室内機器保守管理	22
	機器日常点検	3,695
	修理対応	136
	内視鏡カメラセッティング・記録支援	160
心臓カテーテル部門	検査・治療補助 (急患=186/PCI=494)	1,114
	画像診断装置操作	40
	補助循環業務(IABP)	45
	補助循環業務(PCPS)	23
	ペースメーカー植え込み	120
血液浄化部門	透析室業務	1,591
	出張透析	15
	透析装置機器管理保守	18
	日常点検	4,097
	アフレーシス業務	21
	急性血液浄化業務(CHDF PMX)	48
メーカース 関連	外来定期検査	1,374
	遠隔モニタリング	1,423
	検査/手術等に伴う設定変更	84
合計		17,394

11. 患者食数

(単位：食)

区 分		平成30年度 (A) 365日	令和元年度 (B) 366日	対前年度比較		
				増減数 (B-A)	増減率 (B/A)	
常食	延給食数	82,728	80,467	-2,261	97.3%	
	1食平均	75.6	73.3	-2.3	97.0%	
軟食	延給食数	33,127	32,089	-1,038	96.9%	
	1食平均	30.3	29.2	-1.0	96.6%	
流動食	延給食数	32,114	29,489	-2,625	91.8%	
	1食平均	29.3	26.9	-2.5	91.6%	
特別食	加算あり	延給食数	74,499	83,547	9,048	112.1%
		1食平均	68.0	76.1	8.1	111.8%
	加算なし	延給食数	46,247	37,441	-8,806	81.0%
		1食平均	42.2	34.1	-8.1	80.7%
合計		延給食数	268,715	263,033	-5,682	97.9%
		1食平均	245.4	239.6	-5.8	97.6%

※ 各年度(4月1日～3月31日)で集計。

第3章 研究業績

内 科

学会発表

- SFTS に続発した侵襲性肺アスペルギルス症の 2 例
藤田良佑, 味志裕介, 西山聖也, 山口哲朗.
第 58 回 日本呼吸器学会学術講演会, 2019. 04. 12 東京都

- 当院における胸水 ADA 高値を認めた症例の検討
西山聖也、味志裕介、藤田良佑、熊部智章、山口哲朗
宮崎県立延岡病院 内科
第 59 回日本呼吸器学会学術講演会 2019. 4. 12 東京都

- モガムリズマブが有効であった赤芽球ろうを合併した PTCL の 1 例
外山 孝典
2019. 5. 18 日本内科学会九州地方会 長崎市

- 保存期慢性腎不全患者における酢酸亜鉛とポラプレジンの傾向スコアマッチングを用いた治療効果の比較
押川 初音, 戸井田 達典, 海老原 尚, 市成 直樹, 味志 裕介, 西山 聖也,
藤田 良佑, 橋本 神奈, 外山 孝典, 山口 哲朗
2019 年 8 月 17 日 日本内科学会九州地方会 北九州市

- ダラザレックス、ベルケイド併用療法にて経過良好となった髄外腫瘍を合併した多発性骨髄腫
外山 孝典、藤田 良佑、橋本 神奈、戸井田 達典、山口 哲朗
2019. 8. 17 日本内科学会九州地方会 久留米市

- ロミデプシンにて比較的良好に経過している治療抵抗性 PTCL の症例報告
外山 孝典
2019. 10. 11 日本血液学会 東京都

- 致命的なカンジタ敗血症で発症した MTX による続発性再生不良性貧血の 1 剖検例
外山 孝典、藤田 良佑、戸井田 達典、橋本 神奈、山口 哲朗
2020. 1. 25 日本内科学会九州地方会 福岡市

- 血液透析導入患者における生体電気インピーダンス法による体組成の男女差の検討
戸井田達典、戸井田玲子、海老原尚、上園繁弘、佐藤祐二、藤元昭一
 2020年2月23日 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 東京都

- Impact of alkaline phosphatase and modified creatinine index on bone fracture risk in Japanese hemodialysis patients; Miyazaki Dialysis Cohort study
Risa Yamashita, Tatsunori Toida, Yuji Sato, Shouichi Fujimoto
 ISN world congress of nephrology 2019, April 12-15, 2019 Melbourne (VIC), Australia

- Comparison of on-line hemodiafiltration and hemodialysis on the removal rate of drugs
 Keiko Nishi, Osamu Ogawa, Tatsunori Toida, Shouichi Fujimoto.
 ISN world congress of nephrology 2019, April 12-15, 2019 Melbourne (VIC), Australia

- Impact of pre- and post-dialysis serum calcium fluctuations and dialysate calcium levels on all-cause mortality in Japanese haemodialysis patients; Miyazaki Dialysis Cohort study
Tatsunori Toida, Yuji Sato, Kazuo Kitamura, Shouichi Fujimoto
 2019年5月24~27日 56th ERA-EDTA Congress, Budapest, Hungary

- Impact of pulse pressure and mean arterial pressure on all-cause and cardiovascular mortality in subjects with diabetes in a nationwide cohort from a general Japanese population
Tatsunori Toida, Yuji Sato, Shouichi Fujimoto, Tsuneo Konta, Kunitoshi Iseki, Toshiki Moriyama, Kunihiro Yamagata, Kazuhiko Tsuruya, Ichiei Narita, Masahide Kondo, Masato Kasahara, Yugo Shibagaki, Koichi Asahi, Tsuyoshi Watanabe
 2019年11月6-11日 American society of Nephrology (ASN), Kidney week

- Impact of the serum sodium and chloride difference on all-cause mortality in Japanese hemodialysis patients: The Miyazaki Dialysis Cohort study
Tatsunori Toida, Yuji Sato, Sho Ebihara, Kazuo Kitamura, Shouichi Fujimoto
 2019年11月6-11日 American society of Nephrology (ASN), Kidney week

講演会

- 多発性骨髄腫 関連
外山 孝典
2019年4月13日 宮崎血液セミナー 宮崎市
- 当院でのポマリスト療法のまとめ
外山 孝典
2019年4月20日 宮崎血液研究会 宮崎市
- 当院におけるエルトロンボパグの治療経験
外山 孝典
2019年4月24日 YOROZU Web Meeting 延岡市
- CML 関連演題
外山 孝典
2019年5月11日 宮崎血液セミナー 宮崎市
- 多発性骨髄腫治療における Carfilzomib の役割～当院での自験例より～
外山 孝典
2019年6月7日 カイプロリス WEB ライブセミナー 延岡市
- 当院におけるオビヌツズマブの使用経験
外山 孝典
2019年7月6日 ガザイバ適正使用講演会 宮崎市
- 当院におけるロミデプシンの使用経験
外山 孝典
2019年7月31日 CelMed PTCL Web Seminar 延岡市
- 血液透析患者における透析前後の血清 Ca 変動と透析液 Ca 濃度が生命予後に与える影響の検討～宮崎透析患者コホート研究 (MID study) ～
戸井田達典
2019年8月29日 宮崎県リオナ錠発売5周年記念講演会 宮崎市
- 宮崎県北地域における糖尿病性腎症重症化予防への取り組み
戸井田達典
2019年9月13日 DIABETES UP DATE 2019 in MIYAZAKI 宮崎市

- 当院における真性多血症の治療状況
外山 孝典
2019年9月19日 Novartis MPN Web Seminar in 大分 延岡市

- 糖尿病性腎症について最近の話題
戸井田達典
2019年9月20日延岡医学会学術講演会 特別講演 延岡市

- 再発・難治多発性骨髄腫治療の最近の知見
外山 孝典
2019年9月27日 第6回 熊本県南血液疾患講演会 人吉市

- 再生不良性貧血
外山 孝典
2019年10月26日 人吉血液疾患研究会 人吉市

- 血液透析患者における透析前後の血清Ca変動と透析液Ca濃度が生命予後に与える影響（宮崎透析コホート研究）
戸井田達典
2019年11月28日 宮崎県北透析管理セミナー 延岡市

- 血液透析導入時の貧血治療と予後に関する検討
戸井田達典
2019年12月1日第4回腎領域クローズドセミナー 東京都千代田区

- SDMに基づいた当院での腎代替療法選択外来について
土居美子、海老原尚、戸井田達典
2019年12月13日延岡医学会学術講演会
宮崎県北地域腎代替療法地域連携セミナー 延岡市

- 多発性嚢胞腎に対するサムスカ導入の実際
戸井田達典
2020年1月23日 日向市東臼杵郡医師会学術講演会 特別講演 日向市

- 糖尿病性腎症について最近の話題
戸井田達典
2020年1月25日 宮崎地域糖尿病療養指導士スキルアップセミナー 特別講演
延岡市

- 慢性腎不全患者における低亜鉛血症治療の意義
戸井田達典
2020年1月31日 延岡医学会学術講演会 特別講演 延岡市
- 腎不全患者における貧血治療の実際
戸井田達典
2020年2月9日 長崎県人工透析研究会 ランチョンセミナー 長崎県諫早市
- 当院におけるADPKDの診療
戸井田達典
2020年2月18日 第3回ADPKD診療セミナー 宮崎市

研究会

- 「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018」～変更点を中心に 延岡地域での対応を考える～
戸井田達典
2019年5月30日 延岡 糖尿病と慢性腎不全研究会 延岡市
- サルモネラ感染症により急性腎不全を呈した一例
海老原尚 戸井田達典 藤元昭一
2019年11月23日 九州人工透析研究会 一般演題 佐賀市

論文

【原著論文】

- Pre- and Post-dialysis Uric Acid Difference and Risk of Long-Term All-Cause and Cardiovascular Mortalities in Japanese Hemodialysis Patients; Miyazaki Dialysis Cohort Study.
Toida Tatsunori, Sato Yuji, Komatsu Hiroyuki, Kitamura Kazuo, Fujimoto Shouichi.
Blood Purif. 2019 Apr 3;47 Suppl 2:1-6.
- Characterisation of N-terminal pro-brain natriuretic peptide in dialysis patients and its reduced prognostic significance in the elderly.
Yuji Sato, Yuri Ishizaki, Kumiko Aso, Akihiro Minakawa, Tatsunori Toida, Ryuzoh Nishizono, Masao Kikuchi, Hiroko Inagaki, and Shouichi Fujimoto
Sci Rep. 2019 Apr 29;9(1):6630.

- Synergic impact of BMI, diabetes, and age on long-term mortality in incident Japanese hemodialysis patients: A cohort study of the large national dialysis registry.
Tatsunori Toida, Yuji Sato, Satoshi Ogata, Atsushi Wada, Ikuto Masakane, Shouichi Fujimoto.
J Ren Nutr. 2019 Dec 4. Pii: S1051-2276(19)30346-2.

【総説】

- 血液透析患者における腎性貧血治療の最近の話題
戸井田達典 藤元昭一
九州人工透析研究会雑誌、2019 4 巻

【著書】

- 「IgA 腎症を疑ってください」むかしのあたまでみていませんか?腎臓・高血圧診療をスッキリまとめました、
戸井田達典
南江堂、東京、2019 年 6 月 22 日、p80~86

循環器内科

学会発表

【国際学会】

- **ESC congress 2019, 2019.8.31-9.4, Paris, France**
Ishii M, Seki T, Sakamoto K, Kaikita K, Miyamoto Y, Tsujita K, Masuda I, Kawakami K.
Effects of Asian dust on blood pressure and blood cell counts: a cross-sectional study of health check-up data

- **ESC congress 2019, 2019.8.31-9.4, Paris, France**
Ishii M, Seki T, Kaikita K, Sakamoto K, Nakai M, Sumita Y, Nishimura K, Miyamoto Y, Noguchi T, Yasuda S, Saito Y, Tsutsui H, Komuro I, Ogawa H, Tsujita K, Kawakami K.
Short-term exposure to asian dust is associated with myocardial infarction with nonobstructive coronary arteries.

【国内学会・研究会・シンポジウム・講演会】

- **第 29 回 日本心血管インターベンション治療学会 九州・沖縄地方会 2019/8/23, 熊本**
<一般演題>,
山本展誉, 「巨大右冠動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した一例」
黒木一公, 「苦労した LMT の 1 例」
<ランチョンセミナー>
黒木一公, 「OCT guided PCI ~Tips & Tricks~」

- **第 28 回日本心血管インターベンション学会 学術集会 2019/9/19-21 名古屋**
<一般演題>
山本展誉 DCA セッション座長

- **Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement 2019, 2019/11/21, 福岡,**
<PCI 教育コース CTO>, 黒木一公, 「LAD CTO の 1 例」

- **第 30 回 日本心血管インターベンション治療学会 九州・沖縄地方会 2020/1/18, 福岡**
<一般演題>
小牧聡一, 「ステント留置後の OCT で膜様構造物が観察された一例」
黒木一公, 左主幹部病変・分岐部病変 コメンテーター
<Young Investigator Award>
山本展誉 YIA 審査員

【研究会】

- 延岡医学会学術講演会 2019/4 延岡
小牧聡一、心房細動合併冠動脈疾患患者の出血性合併症について

- 第3回 HEROES (Harmonization of Education and PCI procedures) 2020/1 福岡
小牧聡一、治療に難渋した PCI の一例

【英文原著】

1. Kurogi K, Ishii M, Sakamoto K, Komaki S, Marume K, Kusaka H, Yamamoto N, Arima Y, Yamamoto E, Kaikita K, Tsujita K, Persistent Renal Dysfunction in Patients Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention for Acute Myocardial Infarction. *J Am Heart Assoc.* 8:e014096, 2019
2. Kurogi K, Ishii M, Sakamoto K, Kusaka H, Yamamoto N, Takashio S, Arima Y, Yamamoto E, Kaikita K, Tsujita K, Minimum Contrast Percutaneous Coronary Intervention Guided by Optical Coherence Tomography using Low-Molecular-Weight Dextran. *JACC Cardiovasc Interv* 2020 (in press)
3. Kurogi K, Ishii M, Sakamoto K, Tsujita K, Observing an Aorto-Ostial Lesion using TELESCOPE® in Optical Coherence Tomography-Guided Percutaneous Coronary Intervention. *EuroIntervention/PCRONline* 2020 (<https://www.pcronline.com/Cases-resources-images/Images-interventional-cardiology/EuroIntervention-images/Aorto-ostial-lesion-observation-by-OCT>)
4. Kurogi K, Ishii M, Sakamoto K, Komaki S, Kusaka H, Yamamoto N, Takashio S, Arima Y, Yamamoto E, Kaikita K, Tsujita K, Optical Coherence Tomography-Guided Percutaneous Coronary Intervention with Low-Molecular-Weight Dextran: Influence on Renal Function. *Circ J* 2020 (in press)
5. Ishii M, Seki T, Kaikita K, Sakamoto K, Nakai M, Sumita Y, Nishimura K, Miyamoto Y, Noguchi T, Yasuda S, Saito Y, Tsutsui H, Komuro I, Ogawa H, Tsujita K, Kawakami K; JROAD Investigators. Short-term Exposure to Desert Dust and the Risk of Acute Myocardial Infarction in Japan: A Time-Stratified Case-Crossover Study. *Eur J Epidemiol.* 2020 (in press)
6. Ishii M, Seki T, Kaikita K, Sakamoto K, Nakai M, Sumita Y, Nishimura K, Miyamoto Y, Noguchi T, Yasuda S, Kanaoka K, Terasaki S, Saito Y, Tsutsui H, Komuro I, Ogawa H, Tsujita K, Kawakami K; JROAD Investigators. Association of Short-term Exposure to Air pollution with Myocardial Infarction with and without Obstructive Coronary Artery Disease. *Eur J Prev Cardiol.* 2020 (in press)

7. Ishii M, Kaikita K, Sakamoto K, Seki T, Kawakami K, Nakai M, Sumita Y, Nishimura K, Miyamoto Y, Noguchi T, Yasuda S, Tsutsui H, Komuro I, Saito Y, Ogawa H, Tsujita K; JROAD Investigators. Characteristics and in-hospital mortality of patients with myocardial infarction in the absence of obstructive coronary artery disease in super-aging society. *Int J Cardiol.* 301: 108-113, 2020.
8. Ishii M, Kaikita K, Mitsuse T, Nakanishi N, Oimatsu Y, Yamashita T, Nagamatsu S, Tabata N, Fujisue K, Sueta D, Takashio S, Arima Y, Sakamoto K, Yamamoto E, Tsujita K. Reduction in thrombogenic activity and thrombocytopenia after transcatheter aortic valve implantation – The ATTRACTIVE-TTAS Study –. *Int J Cardiol Heart Vasc.* 23: 100346, 2019.
9. Marume K, Takashio S, Nishi M, Hirakawa K, Yamamoto M, Hanatani S, Oda S, Utsunomiya D, Shiraishi S, Ueda M, Yamashita T, Sakamoto K, Yamamoto E, Kaikita K, Izumiya Y, Yamashita Y, Ando Y, Tsujita K. [Combination of Commonly Examined Parameters Is a Useful Predictor of Positive ^{99m}Tc-Labeled Pyrophosphate Scintigraphy Findings in Elderly Patients With Suspected Transthyretin Cardiac Amyloidosis.](#) *Circ J.* 2019;25:1698-1708.
10. Marume K, Nagatomo K, Yamamoto N, Kaichi R, Mori T, Komaki S, Ishii M, Kusaka H, Toida R, Kurogi K, Nagamine Y, Takashio S, Arima Y, Sakamoto K, Yamamoto E, Kaikita K, Tsujita K. Prognostic impact of the presence of on-duty cardiologist on patients with acute myocardial infarction admitted during off-hours. *J Cardiol.* 2020

【邦文雑誌・総説】

- 抗血小板薬の併用から単剤への切り替えはいつ・どうやるか？
石井正将, 海北幸一, 辻田賢一
薬局 70(12): 55-59, 2019.
- 循環器領域におけるデータベース研究の現状と可能性
関智嗣, 石井正将, 川上浩司
実験医学増刊 37(5): 48-53, 2019.

【研究助成・受賞等】

- 第126回日本循環器学会九州地方会 2019年6月29日 宮崎
<YIA 臨床研究(CR)セッション最優秀賞>
丸目恭平、高潮征爾、小牧聡一、日下裕章、戸井田玲子、黒木一公、辻田賢一、山本展誉
ピロリン酸心筋シンチグラフィ陽性に関連する因子及び検査を実施すべき患者像についての検討

- 第5回日本心筋症研究会 2019年7月13日 札幌
＜YIA セッション最優秀賞＞
丸目恭平、高潮征爾、小牧聡一、日下裕章、戸井田玲子、黒木一公、辻田賢一、山本展誉
ピロリン酸心筋シンチグラフィ陽性に関連する因子及び検査を実施すべき患者像についての検討

- 第127回日本循環器学会九州地方会
Young Investigator's Award (YIA) 臨床研究セッション 優秀賞
石井 正将
「粒子状大気汚染物質の短期曝露と心筋梗塞との関連についての検討」

- 日本人間ドック学会学術委託研究 Number 2019-7 (研究分担者)
石井 正将
「黄砂及び大気汚染物質が身体へ及ぼす健康影響の検討」

【招待講演】

- 連携大学院セミナー 2019年11月12日 国立循環器病研究センター
丸目恭平. 大学院そして宇宙医学

小 児 科

研究会

- ウイルソン病の服薬コンプライアンス～熊本大学でフォロー中の症例を中心に～
野田 裕介
2019. 5. 18 第 23 回日本ウイルソン病研究会 東京都

- 感染性心内膜炎から敗血症性肺塞栓症を発症した男児
中村賢二
2019. 7. 5 第 30 回県北小児科研究会

- コッホ現症疑いの乳児 3 例
岡田健太郎
2019. 7. 5 第 30 回県北小児科研究会

- 日本紅斑熱を疑った 1 例
佐渡 円香
2019. 7. 5 第 30 回県北小児科研究会

外 科

学会発表

- 下部消化管穿孔における予後不良因子の検討 -サルコペニアの関与を含めて-
土居浩一, 佐藤寛紀, 武山秀晶, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2019. 4. 19 第 119 回日本外科学会 大阪市
- 腸管気腫症における手術適応と予後不良因子の解析
石躍裕之, 土居浩一, 佐藤寛紀, 武山秀晶, 甲斐田剛圭
2019. 4. 19 第 119 回日本外科学会 大阪市
- 大腸切除症例における Comorbidity-Polypharmacy score (CPS) の検討
甲斐田剛圭, 佐藤寛紀, 武山秀晶, 石躍裕之, 土居浩一
2019. 4. 19 第 119 回日本外科学会 大阪市
- 小腸穿孔の予後予測における Sepsis3 の有用性
武山秀晶, 佐藤寛紀, 甲斐田剛圭, 石躍裕之, 土居浩一
2019. 4. 20 第 119 回日本外科学会 大阪市
- 高齢者における下部消化管穿孔における予後予測因子の検討
佐藤寛紀, 武山秀晶, 甲斐田剛圭, 石躍裕之, 土居浩一
2019. 4. 20 第 119 回日本外科学会 大阪市
- 腹腔動脈合併膵尾側切除 (DP-CAR) における術前コイル塞栓術の必要性の検討
木下翔太郎, 池嶋 聡, 堀野 敬, 白神 慧, 山根大侍, 泉 大輔, 森田圭介, 島田信也,
馬場秀夫
2019. 4. 18 第 119 回日本外科学会 大阪市
- 予後栄養指数 (Prognostic nutrition index:PNI) を用いた膵癌術後高再発リスク群の同定
小川大輔, 中川茂樹, 山下洋市, 上村紀雄, 梅崎直樹, 山尾宣揚, 宮田辰徳, 岡部弘尚,
今井克憲, 林 洋光, 近本 亮, 馬場秀夫
2019. 4. 20 第 119 回日本外科学会 大阪市
- 慢性腎不全を有する肝門部胆管癌に対して根治切除を施行した 1 例
小川大輔, 岡部弘尚, 山下洋市, 伊東山瑠美, 遊佐俊彦, 中尾陽佑, 今井克憲, 近本 亮,
馬場秀夫
2019. 5. 11 第 55 回九州外科学会 福岡市

- 大腸癌イレウス手術における感染性合併症と栄養
土居浩一, 石躍裕之, 佐藤寛紀, 武山秀晶, 甲斐田剛圭
2019. 6. 21 第 54 回日本癌局所療法研究会 岡山市

- 大腸癌手術における感染性合併症の発生要因と予後因子の解析
土居浩一, 佐藤寛紀, 武山秀晶, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2019. 7. 19 第 74 回日本消化器外科学会総会 東京都

- 胃癌切除症例における Naples prognostic score の有用性についての検討
甲斐田剛圭, 佐藤寛紀, 武山秀晶, 石躍裕之, 土居浩一
2019. 7. 17 第 74 回日本消化器外科学会総会 東京都

- 小腸緊急手術における術後合併症の危険因子についての検討
佐藤寛紀, 甲斐田剛圭, 武山秀晶, 石躍裕之, 土居浩一
2019. 7. 19 第 74 回日本消化器外科学会総会 東京都

- 抗菌吸収糸による消化管手術部位感染症予防効果の検討
木下翔太郎, 堀野 敬, 堀野 敬, 白神 慧, 山根大侍, 泉 大輔, 森田圭介,
池嶋 聡, 島田信也, 馬場秀夫
2019. 7. 17 第 74 回日本消化器外科学会総会 東京都

- 食道癌手術における Best Practice
小川大輔, 吉田直矢, 長井洋平, 清住雄希, 日吉幸晴, 馬場祥史, 岩槻政晃, 岩上志朗,
宮本裕司, 馬場秀夫
2019. 7. 18 第 74 回日本消化器外科学会総会 東京都

- 大腸癌手術における感染性合併症の要因分析とその対策
土居浩一, 山内 綾, 寺尾公成
2019. 9. 21 第 20 回日本医療マネジメント学会九州・山口連合大会 宮崎市

- 大腸癌根治術における SSI の発生要因と予後への影響についての検討
土居浩一, 佐藤寛紀, 武山秀晶, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2019. 11. 3 JDDW 第 17 回消化器外科学会大会 神戸市

- 胆のう原発混合型神経内分泌腫瘍の 1 例
小川大輔, 土居浩一, 木下翔太郎, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2019. 11. 8 第 103 回日本消化器病学会九州支部例会 宮崎市

- 閉塞性大腸癌における大腸ステント留置後の原発巣切除後の検討
甲斐田剛圭, 木下翔太郎, 小川大輔, 武山秀晶, 石躍裕之, 土居浩一
2019. 11. 16 第 81 回日本臨床外科学会大会 高知市
- 外傷性小腸穿孔に対する手術手技における報告
木下翔太郎, 土居浩一, 小川大輔, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2019. 11. 14 第 81 回日本臨床外科学会大会 高知市
- 大腸癌イレウスにおける栄養因子を含めた感染性合併症危険因子の解析
土居浩一, , 甲斐田剛圭, 小川大輔, 木下翔太郎, 石躍裕之, 城野愛子, 迫分 彩,
甲斐栄理佳, 糸田恵美
2020. 2. 26 第 34 回日本静脈経腸栄養学会 京都市
(コロナ感染拡大予防のため誌上発表)

論文

- 大腸癌イレウス根治術における感染性合併症と術前栄養の解析
土居浩一, 甲斐田剛圭, 小川大輔, 木下翔太郎, 石躍裕之
Jpn J Eance Chemother 47(1):186-188, 2020

整形外科

学会発表

- 早期離床に最適な人工骨頭アプローチ
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
第7回伊豆スプリングセミナー 2019.4.15@静岡県

- New treatment strategy of pink pulseless hand in pediatric supracondylar fracture using ultrasound sonography.
Miyazaki prefectural Nobeoka hospital ;Tatsuhiko Muraoka,
Miyazaki prefectural Miyazaki hospital ;Sanshiro Inoue
The 20th European Congress of Trauma & Emergency surgery 2019.5.5-7@Purague

- Life prognosis of proximal femur fractures in dialysis-dependent elderly patients.
Misato national health insurance hospital; Koki Iguchi
Miyazaki prefectural Nobeoka hospital ;Tatsuhiko Muraoka,
The 20th European Congress of Trauma & Emergency surgery 2019.5.5-7@ Purague

- 当院の高齢女性大腿骨頸部骨折に対する、アプローチ別治療成績の比較
県立延岡病院 戸田雅、村岡辰彦、岡村龍、北堀彩泰子、栗原典近
第92回日本整形外科学会学術総会 2019.5.9-12@横浜市

- High energy 外傷による Type C Plateau 骨折は閉鎖骨折でも Staged surgery を検討すべきである
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
第78回宮崎整形外科懇話会 2019.6.8@宮崎市

- Asulock の後方からのピンは大転子後方骨片を捉えることができるか？
県立延岡病院 整形外科 高橋巧、村岡辰彦、戸田雅、岡村龍、公文崇詞、栗原典近
第78回宮崎整形外科懇話会 2019.6.8@宮崎市

- Garden 分類における検者間差の検討～整形外科専門医と臨床研修医の一致度～
県立宮崎病院 整形外科 井上隆広、井上三四郎
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
第78回宮崎整形外科懇話会 2019.6.8@宮崎市

- 骨折手術時におけるディスプレイポプザブル注射器シリンジ外筒を利用した術中整復保持
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 県立宮崎病院 整形外科 井上三四郎
 第 45 回日本骨折治療学会 2019. 6. 28-29@福岡県

- 術中超音波を使用した Pink pulseless hand の治療
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 県立宮崎病院 整形外科 井上三四郎
 第 31 回日本整形外科超音波学会 2019. 7. 6-7@名古屋市

- 宮崎県における血液透析患者の大腿骨近位部骨折後の生命予後
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 県立宮崎病院 整形外科 井上三四郎
 第 45 回日本骨折治療学会 2019. 6. 28-29@福岡県

- 小児前腕骨骨折後変形治癒に対する術中創外固定を用いた変形矯正の一例
 美郷町国保西郷病院 井口公貴
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦、戸田雅、岡村龍、栗原典近
 第 45 回日本骨折治療学会 2019. 6. 28-29@福岡県

- 大腿骨遠位部骨折の骨癒合は「1 つ以上の皮質の架橋」により予測できる
 椎葉国民健康保険病院 竹脇裕太
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦、戸田雅、岡村龍、栗原典近
 第 45 回日本骨折治療学会 2019. 6. 28-29@福岡県

- 人工股関節術後の腸腰筋血腫感染に iMAP/iSAP を使用した 1 例
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 第 2 回播磨整形形成研究会 2019. 11. 10@兵庫県

- SFN 遠位横止めストッパー付きドリルの適切な長さ
 ～大腿骨直径と血管走行からの検討～
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦、戸田雅、岡村龍、栗原典近
 県立宮崎病院 整形外科 井上三四郎
 第 138 回西日本整形・災害外科学術集会 2019. 11. 30, 12. 1@佐賀県

- Incisional NPWT の使用経験
高千穂病院 石原和明
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦、北堀彩泰子、川野啓介、小園敬洋、岡村龍、栗原典近
第 79 回宮崎整形外科懇話会 2019. 12. 21@宮崎市
- 前内側アプローチを用いた脛骨遠位端骨折の治療成績
美郷町国保西郷病院 井口公貴
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦、北堀彩泰子、川野啓介、小園敬洋、岡村龍、栗原典近
第 79 回宮崎整形外科懇話会 2019. 12. 21@宮崎市
- iSMAP で救肢できた下腿 GustiloⅢb 開放骨折の I 例
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
第 3 回九州重度四肢外傷 peer review 会議 2020. 3. 28

論文・雑誌

- 外傷性コンパートメント症候群 31 例—後遺症の原因の検討
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
別冊整形外科 70 巻 1 号 ; 43~45、2019
- 超音波は pink pulseless hand の血管展開に有用である
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
別冊整形外科 75 ; 45~48、2019
- 当院の大腿骨転子部骨折手術の現状～今後 24 時間以内に手術を行うためには～
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦、戸田雅、岡村龍、公文崇詞、栗原典近
整形外科と災害外科 68 : (3)391~393, 2019
- 4part 大腿骨転子部骨折の固定法 SFN vs LFN～治療成績と手術侵襲からの検討～
県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
県立宮崎病院 整形外科 井上三四郎、井上隆広、内田泰輔、原田知
骨折 第 41 巻 No. 3. 2019 937-939

- 宮崎県中核病院における大腿骨転子部骨折早期手術の検討～医療資源の似た2つの病院での比較～
 県立宮崎病院 整形外科 井上隆弘、井上三四郎、内田泰輔、大角崇史、古川寛
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 骨折 第42巻 No.1. 2020 200-202

- 骨接合時の術中整復保持の工夫～創外固定器としてのKワイヤーとディスプレイブル注射器シリンジの利用
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 県立宮崎病院 整形外科 井上三四郎
 骨折 第42巻 No.1. 2020 259-261

- 寛骨臼猟虫骨折後創傷感染症および殿筋壊死に対してNPWTi-dを使用した1例
 美郷町国保西郷病院 井口公貴
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 骨折 第41巻 No.3 2019 1133-1136

- 小児前腕骨骨折後変形治癒に対する術中創外固定を用いた変形矯正の1例
 美郷町国保西郷病院 井口公貴
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 骨折 第42巻 No.2. 2020

講演

- 大腿骨近位部骨折 Up to date～“早期手術”と“Fix & Treat”
 県立延岡病院 整形外科 村岡辰彦
 延岡医師会学術講演会 2,019.10.30

呼吸器外科

学会発表

- 右肺全摘後の対側膿胸に対し胸腔鏡下手術を施行した1例
森 浩貴、能勢直弘
第36回日本呼吸器外科学会学術集会. 2019年5月17日 大阪市
- 転移性肺腫瘍切除術では微小病変の存在に注意が必要である
能勢直弘、森 浩貴
第36回日本呼吸器外科学会学術集会. 2019年5月18日 大阪市
- 肺癌術前後就労状況の検討
能勢直弘
第67回日本職業・災害医学会総会. 2019年11月10日 東京都
- 膜癒着療法にて治癒した肺癌術後難治性乳糜胸の1例
森 浩貴、能勢直弘
第52回胸部外科学会 地方会. 2019年8月29日 宮崎市
- 悪性胸膜中皮腫と鑑別を要した良性石綿胸水の1例
大原佑子
第52回胸部外科学会 地方会. 2019年8月29日 宮崎市
- 前胸部L字開胸＋胸腔鏡補助で完全切除した巨大胸腺腫
能勢直弘、森 浩貴
第52回胸部外科学会 地方会. 2019年8月30日 宮崎市
- 肺癌術後再発に対する免疫チェックポイント阻害薬の使用経験
森 浩貴、能勢直弘
第60回日本肺癌学会九州支部学術集会. 2020年2月21日 北九州市
- 限局性胸膜中皮腫の一例
能勢直弘、森 浩貴
第60回日本肺癌学会九州支部学術集会. 2020年2月22日 北九州市

原著論文

- 肺癌に対する外来化学療法中止率の検討
能勢直弘
日本職業・災害医学会会誌 67 巻 6 号 517-520. 2019 11.

- 宮崎県北における肺癌切除率の検討
能勢直弘、森 浩貴、西山聖也、味志祐介、藤田良佑、熊部智章、山口哲朗
延岡医学会誌 第 1 4 号 63-68. 2020. 3.

心臓血管外科

学会発表

- 上行性血栓性静脈炎の治療経験
新名克彦
第 47 回日本血管外科学会学術総会 2019 年 5 月 24 日 名古屋市
- 分岐異常を伴った右鎖骨下動脈瘤(Kommerell 憩室)に対する Chimney 法ステントグラフト内挿術の経験
松山正和
第 126 回日本循環器学会九州地方会 2019 年 6 月 29 日 宮崎市
- 繰り返す腹部大動脈瘤破裂に対する IABO を用いた開腹術と EVAR の二期的ハイブリッド治療の経験
松山正和
第 54 回宮崎救急医学会 2019 年 8 月 24 日 延岡市
- 大腿動脈仮性瘤に対して VIABHN を用いた血管内治療が有効であった 1 例
新名克彦
日本血管外科九州地方会 2019 年 8 月 24 日 福岡市
- 心肺停止の上行瘤破裂に対する低体温療法と手術の経験
松山正和
第 52 回日本胸部外科学会九州地方会総会 2019 年 8 月 29 日 宮崎市
- 急性心筋梗塞後乳頭筋断裂に対する僧帽弁置換術の経験
松山正和
第 52 回日本胸部外科学会九州地方会総会 2019 年 8 月 29 日 宮崎市
- 膝窩動脈瘤自然瘤縮小の 1 例
新名克彦
第 60 回日本脈管学会総会 2019 年 10 月 10 日 広島市
- Kommerell 憩室（右側大動脈弓、左鎖骨下動脈分岐異常）に対するステントグラフト内挿術の経験
松山正和
第 115 回日本血管外科学会九州地方会 2020 年 2 月 8 日 福岡市

研究会

- 腹部大動脈破裂後の中枢部破裂に対する二期的 Hybrid 手術の経験
松山正和
第 4 回宮崎大学外科学講座同門会 2019 年 6 月 1 日 宮崎市
- 意識障害を伴った上行大動脈瘤破裂に対する低体温療法と基部置換術の経験
松山正和
第 22 回延岡心臓病カンファレンス 2019 年 7 月 16 日 延岡市
- AMI 後、乳頭筋断裂を伴う急性心不全に対する開心術の経験
白崎幸枝
第 23 回延岡心臓病カンファレンス 2019 年 10 月 15 日 延岡市
- 大腿深動脈に対する IVR 2 症例
新名克彦
第 24 回延岡心臓病カンファレンス 2020 年 1 月 14 日 延岡市

講演

- 本当は怖い B 型解離
松山正和
自治医科大学 OB 講義 2019 年 7 月 9 日 延岡市
- カテーテルで治す大動脈瘤
松山正和
TAVR 講演 2019 年 7 月 26 日 延岡市
- 大動脈解離について
松山正和
宮崎県北産婦人科医会令和元年 7 月例会 2019 年 7 月 30 日 延岡市
- 血管外科のおしごと
新名克彦
研修医セミナー 2019 年 8 月 1 日 延岡市
- 大動脈解離
松山正和
研修医セミナー 2020 年 2 月 27 日 延岡市

学術雑誌掲載論文

- 妊娠中に合併した肺動脈塞栓を伴う切迫奇異性塞栓症の1手術例
白崎幸枝、松山正和
日本心臓血管外科学会雑誌 2019; 48: 185-188

泌尿器科

学会発表

- 最近、当院で経験した肉腫の2例

藤田直子, 山下康洋

2020. 1. 18, 日本泌尿器科学会第91回宮崎地方会, 宮崎市

産婦人科・周産期科

学会発表

- シートベルト外傷により子宮胎盤損傷ならびに胎児死亡を来した1例
村岡純輔、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成
第71回日本産科婦人科学会学術講演会 2019.04.13 (名古屋市)

- 膣閉鎖術後に診断し手術加療した子宮体癌の1例
村岡純輔、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成
平成31年度宮崎県産科婦人科学会・春期学術講演会 2019.04.27 (宮崎市)

- 子宮留膿腫の穿孔による汎発性腹膜炎の1例
村岡純輔、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成
第76回九州連合産科婦人科学会 2019.05.19 (福岡市)

- 症例から学ぶ静脈血栓塞栓症の診断
村岡純輔、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成
令和元年度宮崎県北産婦人科医会 (5月度例会) 2019.05.28 (延岡市)

- 難治性再発子宮体癌に対するペムブロリズマブの使用経験
河野猛嗣、紀 愛美、牧 洋平、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成
令和元年度宮崎県産科婦人科学会・秋期学術講演会 2019.09.14 (宮崎市)

- 地域医療圏における周産期医療ネットワークシステム
山内 綾、寺尾公成
日本医療マネジメント学会 第18回九州・山口連合大会 2019.09.21 (宮崎市)

- 県北医療圏における周産期医療ネットワークの導入
牧 洋平、松 敬介、紀 愛美、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成
令和元年度延岡医学会総会 2019.10.12 (延岡市)

論文発表

- Uterine Trauma and Intrauterine Fetal Death Caused by Seatbelt Injury
Case Reports in Obstetrics and Gynecology Article ID 5262349, 3 pages, 2019
Junsuke Muraoka, Teruo Otsuka, Aya Yamauchi, Kiminari Terao

- 抗てんかん薬（レベチラセタム）内服により新生児薬物離断症候群を呈した1例
周産期医学 Vol.50, No.1, 135-137, 2020
村岡純輔、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成

- 膣閉鎖術後に手術加療し診断した子宮体癌の1例
産科と婦人科 Vol.87, No.2, 225-228, 2020
村岡純輔、大塚晃生、山内 綾、寺尾公成

- 産科出血について考える ～羊水塞栓症に焦点をあてて～
延岡医学会誌 Vol.14, No.1, 55-58, 2020
山内 綾、河野猛嗣、村岡純輔、大塚晃生、寺尾公成

- シートベルト外傷による胎児死亡
～妊婦はシートベルトをしない方が良いのか？～
延岡医学会誌 Vol.14, No.1, 73-76, 2020
大塚晃生、村岡純輔、山内 綾、寺尾公成

- 低リスク産褥婦に発症した深部静脈血栓・肺血栓塞栓症の1例
延岡医学会誌 Vol.14, No.1, 91-93, 2020
村岡純輔、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成

放射線科

学会発表

- 当施設施行の頭頸部癌に対する IMRT による放射線治療の評価
楠原和朗, 他宮崎大学医学部附属病院医師 5 名・放射線技師 2 名
2019. 11. 21~23, 日本放射線腫瘍学会 第 32 回学術大会, 名古屋市

【技師】

- 腹部領域の造影 CT における逐次近似応用画像再構成法の有用性について
田代祐麻
2019. 5. 25 宮崎県放射線技師会総会時学術大会 宮崎市
- 当院における CT の面内分解能向上の取り組みについて
長友俊樹, 他県立宮崎病院放射線技師 3 名
2019. 5. 25 第 10 回九州 CT 研究会 北九州市
- 脳神経領域の血管造影で知っておきたいこと
長友俊樹
2019. 9. 7 第 1 回南九州 IVR 研究会 熊本市
- CT 画像における自動露出機構と被写体厚に応じた SSDE の画質との関係性について
津曲秀一, 長友俊樹, 杉尾和久, 他県立宮崎病院放射線技師 2 名
2019. 11. 9~10 第 14 回九州放射線医療技術学術大会 熊本市

歯科口腔外科

学会発表

- 当科において笑気吸入鎮静法下に治療を行った症例の検討
清宮 弘泰、井川 加織、高森 晃一
第30回九州歯科麻酔シンポジウム（日本歯科麻酔学会九州地方会）
一般講演Ⅱ
2020. 2. 1、宮崎市

講演会

- 宮崎県立延岡病院歯科口腔外科における周術期口腔機能管理の現状
井川 加織、清宮 弘泰、高森 晃一
第2回宮崎口腔ケアフォーラム～周術期口腔ケアの現状と展望～
講演Ⅲ
2019. 8. 25、宮崎市

麻 酔 科

学会発表

- 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会 [口演]
セッション： パネルディスカッション2 関連セッション2 「救急医療のあり方—
人生 100 年時代の救急医療」
—地方中核病院救急センターにおける超高齢者救急の実態：DPC data を用いた解析
宮崎県立延岡病院 救急センター 矢野隆郎、山内弘一郎、中村仁彦、遠藤穰治、
長嶺育弘
- 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会
ポスターセッション 71： その他の救急疾患 座長 矢野隆郎
- 第 66 回日本麻酔科学会学術集会
[R41] 麻酔科領域講習（リフレッシャー）・ベーシック
周術期心停止管理からみた Pediatric Advanced Life Support:小児周術期蘇生プラ
クティスガイド
(Pediatric perioperative life support)

演者 矢野隆郎
- 第 47 回日本集中治療医学会学術集会：演題採用/大会中止により未発表
発表セッション :優秀演題選考セッション
発表セッションタイトル :English Session
宮崎県立延岡病院 救急センターICU 矢野隆郎、山内弘一郎
院外心停止心肺蘇生中の動脈血ガス分析
- 第 47 回日本集中治療医学会学術集会：演題採用/大会 web 発表
発表セッションタイトル :English Session1
宮崎県立延岡病院 救急センターICU 矢野隆郎、山内弘一郎
2 cases of suspected sugammadex induced coronary spasm.; Type 1 Kounis
syndrome.

論文発表

- Takao Yano 1 , Ryo Kawana 2 , Koichiro Yamauchi 1 , George Endo 2 ,
Yasuhiro Nagamine 2
The Additive Effect of Atropine Sulfate During Cardiopulmonary Resuscitation
in Out-of-hospital Non-traumatic Cardiac Arrest Patients With Non-shockable
Rhythm
Intern Med . 2019 ;58:1713-1721.

救命救急科

学会発表

- 第54回 宮崎救急医学会：Ⅱ医学生・研修医セッション
県立延岡病院 救命外来におけるAi-CTの有用性について
1)宮崎県立延岡病院 救命救急科，2)宮崎県立病院群フェニックスプログラム研修医
北條健人 1)2)，長嶺育弘1)，遠藤穰治 1)，中村仁彦 1)

- 第54回 宮崎救急医学会：Ⅱ医学生・研修医セッション
結腸膀胱皮膚瘻により壊死性軟部組織感染症を来した一例
1)宮崎県立延岡病院 救命救急科，2)宮崎大学医学部附属病院 卒後診療研修センター
田平 康晴1) 2)、長嶺育弘 1)，中村 仁彦 1)，遠藤穰治 1)

- 第54回 宮崎救急医学会：Ⅲ医学生・研修医セッション
敗血症正ショック患者に対する抗菌薬投与までに要した時間の比較検討
1)宮崎県立延岡病院 救命救急科，2)宮崎大学医学部附属病院 卒後診療研修センター
檜原 亮 1)2)，中村仁彦 1)，伊豆元心太郎 1)，遠藤穰治 1)，長嶺 育弘 1)

- 第54回 宮崎救急医学会：Ⅰ一般演題
延岡市消防本部のPA連携の有効性について
1) 延岡市消防本部 救命士，2) 宮崎県立延岡病院 救命救急科
津端一総1)，奈須大和1)，長嶺育弘2)

- 第54回 宮崎救急医学会：Ⅴ 一般演題
A病院における院内救急対応システムの現状と課題
1) 宮崎県立延岡病院 救命救急センター 2) 県立延岡病院 救命救急科
森久保裕 1)，橋口佳慎 1)，長嶺育弘2)

- 第55回 宮崎救急医学会：一般演題
当院救命救急センター画像読影所見における見逃し症例防止の対策について
1) 宮崎県立延岡病院 救命救急科
後庵 篤 1)，中村仁彦 1)，長嶺育弘 1)

- 第55回 宮崎救急医学会：一般演題
ドクターランにて早期医療介入となり救命に至った1例
1) 宮崎県立延岡病院 救急病棟，2) 宮崎県立延岡病院 救命救急科
興梶育美 1)，森久保裕 1) 日高美津子 1)，長嶺育弘 2)

講演会

- 延岡・宮崎県の救急医療体制の変化について
2019. 10. 29 延岡市看護師研修講座
長嶺育弘
- 延岡地区 EMIS 研修会：県北部地区の災害医療体制について
2019. 11. 25 延岡市保健所
長嶺育弘
- 宮崎県防災士養成研修：災害医療について
2020. 2. 15 九州保健福祉大学
長嶺育弘

講習会

- 第 6 回宮崎 PEEC (Psychiatric Evaluation in Emergency Care) コース
2019. 6. 8 小林市保健所
長嶺育弘 ディレクター
- 日本救急医学会 ICLS 講習会
2019. 6. 22 宮崎県立延岡病院
長嶺育弘
- 第 7 回 PEEC (Psychiatric Evaluation in Emergency Care) コース
2019. 7. 13 延岡市医師会
長嶺育弘 ディレクター
- 日本外傷機構 外傷初期診療コース (JATEC) 講習会
2019. 7. 20-21
長嶺育弘 コースディレクター
- 令和元年度宮崎県災害医療コーディネーター研修会：講師
2019. 8. 10-11 宮崎大学医学部附属病院
長嶺育弘
- 第 8 回宮崎 PEEC (Psychiatric Evaluation in Emergency Care) コース
2019. 8. 31 都城市保健所
長嶺育弘 ディレクター

- 第9回宮崎 PEEC (Psychiatric Evaluation in Emergency Care) コース
2019. 9. 28 宮崎市保健所
長嶺育弘 ディレクター

- 日本救急医学会 ICLS 講習会
2019. 10. 12 宮崎県立延岡病院
長嶺育弘, 中村仁彦

- 第10回 PEEC (Psychiatric Evaluation in Emergency Care) コース
2019. 11. 30 小林市保健所
長嶺育弘 ディレクター

- 第32/33回宮崎外傷セミナー 病院前救護コース (JPTEC) 講習会
2019. 12. 1 高千穂町役場
長嶺育弘 CMD・世話人、山内弘一郎

- 第1回ひむかレジデント道場
2020. 1. 25 宮崎大学医学部 医療人育成支援センター
中村仁彦

- 第11回 PEEC (Psychiatric Evaluation in Emergency Care) コース
2020. 2. 8 串間市民病院
長嶺育弘 ディレクター

- 日本救急医学会 ICLS 講習会 開催
2020. 02. 09 宮崎県立延岡病院
長嶺育弘, 中村仁彦

- 宮崎県 JMAT 養成研修会：熱傷・外傷の処置
2020. 2. 16 宮崎県医師会館
長嶺育弘

病 理 診 断 科

学会発表

- 子宮頸部細胞診 判定に苦慮した AGC 細胞像の検討
稲田 千文 谷口 慎一郎 島尾 義也 石原 明
第 10 回宮崎病理診断フォーラム（婦人科領域），2019. 10. 5 宮崎市

- 前胸部皮膚腫瘍の 1 例
宮崎県立延岡病院 病理診断科
島尾 義也， 石原 明
第 372 回九州沖縄スライドコンファレンス，2019. 11, 大分市

論文発表

- 顎下腺に発生した扁平上皮癌の 1 例
宮崎県立延岡病院 病理診断科、他
島尾 義也、他
診断病理, 36(4) : 320-323, 2019

リハビリテーション科

その他

- 作業療法について
2019.4 県民講座 発表者 海蔵 健一
- TKAについて
2019.6 院内パス大会 発表者 倉永 浩太
- 摂食機能療法について
2019.6 HCU勉強会 発表者 天辰 雅子
- 摂食嚥下評価の実際
2019.6 宮崎県摂食嚥下臨床研究会 発表者 佐藤 愛佳
- 疾患別リハビリテーション料について
2019.7 チーム医療セミナー 発表者 竹本 秀雄
- 心臓リハについて
2019.8 宮崎県理学療法士協会延岡地区研修会 発表者 山口 大貴
- 褥瘡と早期離床について
2019.10.16 褥瘡対策委員会 発表者 河野 千里、若松 詩織
- 誤嚥性肺炎患者のリハビリテーション
2019.10.25 院内パス大会 発表者 天辰 雅子
- とろみの付け方と食事介助の実際
2020.1.10 摂食嚥下リソース公開講座 発表者 佐藤 愛佳
- 座ってできるイスヨガ
2020.2.17 オンコロジーおしゃべりサロン 発表者 倉永 浩太
- 摂食機能療法について
2020.2.18 6E勉強会 発表者 天辰 雅子

臨床検査科

学会発表

- LABOSPECT008 α におけるナノピア-BNP 試薬の検討
岩切 雄也 深江 弘恵 坂田 和宏
第 57 回 宮崎県医学検査学会
2019.12.15 宮崎県立宮崎病院 3 階講堂

- “さまざまな要因によって変化をきたす検査データについて理解しよう”
岩切 雄也 久方 倫子 深江 弘恵 坂田 和宏
日本医療マネジメント学会 第 13 回 宮崎県支部学術集会
宮崎リハビリテーション学院 (2020.2.22 開催予定であったが、新型コロナウイルス
感染拡大防止のため web 開催となった)

- 当院での血液製剤の購入動向と廃棄血削減への取り組み
櫻井 涼子 阿波野 祥司 坂田 和宏 早瀬 崇洋
日本医療マネジメント学会 第 13 回 宮崎県支部学術集会
宮崎リハビリテーション学院 (2020.2.22 開催予定であったが、新型コロナウイルス
感染拡大防止のため web 開催となった)

研修会

- B-ALL の一症例
石神 加納子
第 78 回宮崎県血液疾患検討会 (症例提示・解説)
2019.7.19 宮崎市

- 検査データから考える血液疾患
久方 倫子
2019 年度 第 2 回宮崎県臨床検査技師会臨床血液部門研修会
2019.8.31 宮崎市

- 子宮頸部細胞診 判定に苦慮した AGC 細胞像の検討
稲田 千文 谷口 慎一郎 島尾 義也 石原 明
第 10 回宮崎病理診断フォーラム (婦人科領域)
2019.10.5 宮崎市

- 単独の5番染色体長腕欠失を伴う骨髄異形成症候群の一症例
久方 倫子
第80回宮崎県血液疾患検討会（症例提示・解説）
2020.2.21 宮崎市

その他

- Global longitudinal strain(GLS)を用いた収縮能の評価
宮下紘樹
第18回 県立延岡病院学会
2019.9.4 延岡病院講堂
- 当院で導入した遺伝子解析装置 SmartGene について
那須 一生 矢野 浩司 坂田 和宏
第19回 延岡病院学会
2020.3.5 延岡病院講堂

栄養管理科

学会発表

- 患者満足度向上に向けた食欲不振食レシピ集（ほっとレシピ）作成
甲斐栄里佳 佐藤沙織 城野愛子 湯池咲子 森田侑莉 糸田恵美 戸井田達典
日本医療マネジメント学会第18回九州・山口連合大会
2019. 9. 21 宮崎市
令和元年度（第26回）九州地区自治体病院栄養・調理部門研修会
2019. 11. 9 北九州市

その他

- 患者満足度向上に向けた食欲不振食レシピ集作成
森田侑莉、佐藤沙織、城野愛子、湯池咲子、甲斐栄里佳、糸田恵美、戸井田達典
第18回県立延岡病院学会
2019. 9. 5 延岡市
- 特別食の食事説明の有無による満足度についての検討
湯池咲子、佐藤沙織、城野愛子、森田侑莉、甲斐栄里佳、糸田恵美、戸井田達典
TQM成果発表会（第19回県立延岡病院学会）
2020. 3. 4 延岡市

臨床工学科

学会発表

- 臨床工学科における日常業務管理の工夫
楠木 一沙 福来 秀満 立川 忠憲 井 晴彦 白地 広人 山内 隆嗣 永田 浩一
山口 章司 中西 清隆 新名克彦
第13回宮崎県支部マネジメント学会 2020. 02. 22(宮崎市)

- 心臓植込み型デバイスにおける遠隔モニタリングの運用
井 晴彦 楠木 一沙 福来 秀満 立川 忠憲 白地 広人 山内 隆嗣 永田 浩一
山口 章司 中西 清隆 山本 展誉 早瀬 崇洋
第18回病院学会 2019. 09. 05(延岡病院)

- 心臓植込み型デバイスにおける遠隔モニタリングの運用管理
井 晴彦 楠木 一沙 福来 秀満 立川 忠憲 白地 広人 山内 隆嗣 永田 浩一
山口 章司 中西 清隆 山本 展誉 新名 克彦
第13回宮崎県支部日本医療マネジメント学会 2020. 02. 22(宮崎市)

薬 剤 部

学会発表

- 当院におけるプラチナ製剤による過敏症への対策と考察
石田 里奈
2019. 9. 6～7 第4回日本がんサポーターティブケア学会学術大会 青森市

- 持参薬に関する院外保険薬局との薬薬連携の試み
小川 弓子、清水 くるみ
2019. 9. 20～21 日本医療マネジメント学会 第18回九州・山口連合大会 宮崎市

- 処方調剤監査システム導入の有用性について
柴田 雅之
2020. 2. 22 日本医療マネジメント学会 第13回宮崎県支部学術集会 宮崎市
※開催中止によりWEB発表

研究会

- 当院の抗菌薬適正使用の取り組みについて
迫 昭男
2019. 8. 3 第141回延岡薬学会及び宮崎県病院薬剤師会 感染防御・抗菌薬化学療法
研修会 延岡市

その他

- 「検査値と処方せん監査」
鳴林 宏樹
2019. 10. 3 第1回KTB 延岡市

- 「検査値と処方せん監査」～抗がん剤編～
石田 里奈
2019. 12. 12 第2回KTB 延岡市

看護部

学会発表

1. 日本看護学会 看護管理 2019. 10. 23～10. 24 愛知県

- 血管シーリングシステム使用方法改善による経費削減のしくみ
横尾 明子 木佐貫 ゆかり 松田 美香

- PNS 新体制導入による効果
首藤 佐和 岩切美穂

- 在院日数短縮に向けた取り組み ～早期転院調整介入による効果～
大西 貴子

2. 全国自治体病院学会 2019. 10. 24～10. 25 徳島県

- 時間外直接入院を受け入れ開始後の小児病棟の現状
神島 雅代 須田 祥子 溝口 枝里 古川 杏奈

- A 病院における院内救急対応システムの現状と課題
森久保 裕

- A 病院手術室でのインシデント分析
黒木 麻莉

- 褥瘡対策に関する取り組みと課題
外山 和孝

- A 病院血液内科病棟においてケースカンファレンスの効果
工藤 麻由佳

3. 日本看護学会 慢性期看護学会 2019. 11. 14～11. 15 鹿児島県

- A 病院循環器内科病棟における心不全患者への ACP 実践の現状と今後の課題
濱田 愛子

4. 日本医療マネジメント学会 九州・山口 2020. 2. 22 宮崎市

- がん化学療法におけるクリティカルパスの課題
吉田 希美

- クリティカルパス委員会・パス大会の確立、パス作成支援への取り組み
谷川 八千代

- 宮崎県立延岡病院における退院支援の現状と課題
頭師 佳代子

- 脳卒中急性期患者が尿排出障害を起こす要因
中内 健太

- 大規模地震災を想定した災害訓練での成果と他職種連携における課題
橋口 佳慎

- 当院 NICU における感染予防対策と今後の課題
小川 道子

- 心不全患者教育の現状と今後の課題
荒竹 亜希子

- 化学療法に関するインシデントレポートから分析した看護師への教育方針の検討
糸平 芳江

- 入院支援センターの取り組みと今後の課題
出口 ゆかり

5. 第 35 回日本環境感染学会総会学術会 2020. 2. 14～2. 15 神奈川県

- 擦式アルコール製剤使用量増加の取り組み」
～個人使用量調査とフィードバックの効果～
中武 和利 中村 照美 隈江 節子

6. 日本医療マネジメント学会 宮崎 2020.2.22 宮崎市

(※感染症拡大防止の観点から、学会は中止された)

- 誤嚥性肺炎クリニカルパス改訂への取り組み
高橋 真寿美 河野 由佳理
- SDM に基づいた当院の腎代替両方選択外来について
土居 美子

7. 令和元年度 宮崎県看護研究学会 2020.3.7 宮崎市

(※感染症拡大防止の観点から、学会は中止された)

- 脳神経センターにおける内服自己管理判断基準の統一化への取り組み
～FIM を使用した判断基準を用いて～
3 東病棟 黒木 龍二
- 継続した産前訪問への取り組み
～母親へのインタビューから効果を検討する～
周産期センター 小森 葉月
- A 病棟における禁煙指導の実態
～調査から見えてきた今後の取り組み～
6 西病棟 奈須 美佳
- 抑制のない看護に向けての取り組み (示説)
～身体抑制に関する看護師の意識調査を行って～
6 西病棟 後藤 奈津美
- 入院患者の履き物調査 (示説)
～転倒を起こしやすい履物使用中患者の割合と必要な看護介入～
7 東病棟 本田 光司

院内学会等発表 *院外学会にて掲載したものは除く

1. 第34回看護師自治会研究発表 2020.1.11 県立延岡病院

- A病院救命救急センター勤務に対する看護師のストレス
～救命救急センター所属看護師と外来所属看護師の比較から～
外来 稲村 裕美 中内 由香 小野 朋子

- A病院ICU・CCUにおける2交替勤務導入によるライフスタイルへの影響
ICU 長友 友美 宮田 なつき 安田 満美子

- A病院HCUにおけるPNS導入効果と課題
HCU 野澤 晃 寺田 美穂子 中西 加寿子 渡部 久弥子

- 脳卒中急性期における膀胱留置カテーテルの抜去基準の導入
3東病棟 中内 健太 梶原 奈緒子 中村 真実 玉田 もと子

- NICUにおける冬季夜間帯を想定した避難訓練から得た課題
周産期センター 稲垣 有紗 安川 厚子 横山 真理 小川 道子

- 産科混合病棟で働く看護師の不安から見る今後の課題
4西病棟 濱松 直美 清水 梨香 赤木 絵里子

- A病院混合病棟における擦式アルコール製剤使用量の低下した場面と原因
6東病棟 椿原 美穂 井下 晃 佐藤 智美

- 整形外科患者が施設退院となった際に必要な情報とは
～介護支援専門員への調査からみえてきたこと～
6西病棟 松本 由美 渡邊 沙耶花 小野 真優

2. 卒後3年目 (基礎Ⅲ) 看護研究発表 2019.10.21 県立延岡病院

- A病院血液内科病棟におけるインフォームド・コンセントの実態調査
～患者本人が意思決定するための看護支援に向けて～
5東病棟 増田 基子

- 転倒ハイリスク患者に対するカンファレンスの取り組み
～患者の「理解・認識」に焦点を当てて～
6西病棟 渡邊 愛美

- 口頭指示受け用紙の活用の現状と今後の課題
～医師と看護師間の口頭指示受け時に焦点を当てて～
6 西病棟 奈須 淑香

- 病棟における身体抑制使用の解除への取り組み
～抑制カンファレンスシートを用いて～
3 東病棟 野中 歩

3. 卒後2年目 (基礎Ⅱ) 事例研究発表 2019. 11. 28 県立延岡病院

- 母を亡くす悲しみの中にある患者の家族との関わりを振り返って
5 東病棟 請関 優利子
- 食事制限を守れなかった患者との関わりを振り返って
5 西病棟 米田 秋子
- 喉頭癌患者との関わりを通しての学び
～プロセスレコードから自己の関わりを振り返る～
6 東病棟 小栗 香織
- 長期入院においてADLの低下を示した患者への関わり
～人工股関節置換術（THA）後感染の患者の事例を通して～
6 西病棟 園田 美里
- 不眠感が強い患者との関わり
～不眠の訴えの中にある原因や要因を探りアプローチの方法や手段を考える～
7 東病棟 柏田 千明
- 自殺企図患者との関わりを振り返って
3 西病棟 小野 豊士
- 訴えを傾聴することから寄り添う看護に繋げる
～プロセスレコードを通して振り返る～
3 東病棟 伊東 鈴奈
- 突然意識障害となった患者・家族との関わりを振り返って
3 東病棟 佐藤 琴美

- 環境の変化により認知機能低下がみられた患者との関わり
～プロセスレコードを用いて～
3 東病棟 高岡 麗佳

- 産婦のバースプランに応じた助産ケアの難しさ
～心身ともに疲労が強い産婦への陣痛指導時の関わりを通して～
4 西病棟 徳村 絵夢

- 絶食中の子どもに付き添っている母親への関わり
～プロセスレコードを振り返って見えてきたこと～
4 東病棟 久光 理央

- 退院後運動制限が必要な、ソフトボール好きな患児の看護を振り返って
4 東病棟 高橋 志保

- 双生児の家族に対する退院支援
～脳性麻痺のある母親と家族との関わりを振り返って～
周産期センター 中村 美月

県立延岡病院学会

1. 第18回延岡病院学会 2019.9.4～9.5

- 時間外直接入院を受け入れ開始後の小児病棟の現状
～看護師の思いから明らかになったこと～
4 東病棟 神島 雅代
- Global longitudinal strain(GLS)を用いた収縮能の評価
臨床検査科 宮下 紘樹
- A 病院循環器内科病棟における心不全患者への ACP 実践の現状と今後の課題
5 西病棟 濱田 愛子
- 処方調剤監査システム導入の有用性について
～調剤インシデント防止をめざして～
薬剤部 柴田 雅之
- 病院前救護における確実な気道確保後の生存率の調査
救急科研修医 脇山 英
- 延岡市における気候と心筋梗塞の関係について
循環器内科研修医 大久保 友貴
- 早期胃癌に対する腹腔鏡手術の安全性・有用性についての検討
消化器外科研修医 吉田 瑛建
- 患者満足度向上に向けた食欲不振食レシピ作成
栄養管理科 森田 侑莉
- 心臓植込み型デバイスにおける遠隔モニタリングの運用
臨床工学科 井 晴彦
- A 病院手術室でのインシデント分析
手術室 黒木 麻莉

- MRI 検査に関する注意点
放射線科 田代 祐麻
- 小児の軽症頭部外傷に CT 撮影は必要か
～PECARN ルールの検討～
救急科研修医 喜多 恒充
- Kounis 症候群の院内発生とその治療の検討
救急科研修医 井手 雄太郎
- 体組成分析装置 (BCM) を用いた血液透析 (HD) 導入期における体組成の男女差の検討
内科研修医 増山 友二

2. 第 19 回延岡病院学会 2020. 3. 4～3. 5

- 「院外処方箋における院内疑義照会適正化プロトコール」の運用とその効果について
薬剤部 大森 開
- A 病院の血液内科病棟におけるインフォームド・コンセントの実態調査
5 東病棟 増田 基子
- 特別治療食の食事説明の有無による満足度についての検討
栄養管理科 湯池 咲子
- 当 ICU 看護師の家族ケアに対する認識と家族ケアの現状
ICU・CCU 病棟 中矢 裕子
- ハリーコールに対する院内 ICLS コースの有用性についての検討
麻酔科研修医 吉田 瑛建
- Stress Index とくも膜下出血についての検討
脳神経外科研修医 北國 秀治
- 肺炎における血液培養の必要性について
救急科研修医 御上 貴史

- 超音波ガイド下腋窩神経ブロックは盲目的ブロックより有用か
整形外科研修医 押川 初音
- 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する modified Glasgow Blatchford score の有用性の検討
消化器外科研修医 荒川 大輔
- 口頭指示受け用紙の活用の現状と今後の課題
6 西病棟 奈須 淑香
- 当院で導入した全自動遺伝子解析装置 SmartGene について
臨床検査科 那須 一生
- カンファレンスを用いた身体抑制使用の解除への取り組み
3 東病棟 野中 歩
- 医療秘書の現状と今後の課題
医療秘書 児島 明子
- 「TAE 目的に当院に搬送となった骨盤骨折の経過」
救急科研修医 北條 健人
- 当院での ST 上昇型急性心筋梗塞症例に対する救急外来到着から治療開始までの所要時間の検討
循環器内科研修医 河野 文耶
- 「救命救急センターにおける読影所見見落としの対策について」
救急科研修医 古賀 浩之
- 外傷症例における FAST の有用性について
救急科研修医 大久保 友貴
- 当院における肺葉切除後に合併した心房細動の検討
呼吸器外科研修医 永友 克己

県民健康講座

- 2019. 4. 17 作業療法とは？
リハビリテーション科 海藏 健一
- 2019. 6. 19 首の病気について
～力が入るんだけど歩けない！首なんか関係あるの？～
整形外科 栗原 典近
- 2019. 8. 21 医薬品とドラッグ
薬剤部 小波津 良太
- 2019. 10. 16 こどもの成長の話～気になるあれこれ～
小児科 中村 賢二
- 2019. 12. 18 循環器疾患 最新の治療
循環器内科 山本 展誉
- 2020. 2. 19 泌尿器科の「ガン」について
泌尿器科 山下 康洋

チーム医療セミナー

- 2019. 5. 15 安全・おいしい・治療を助ける食事
栄養管理科 甲斐栄里佳
- 2019. 7. 17 疾患別リハビリテーション料ってなあに？
リハビリテーション科での収益はどうなっているのでしょうか？
リハビリテーション科 竹本秀雄
- 2019. 9. 18 認知症の方の心をつかむために
看護部 佐藤由佳子
- 2019. 11. 20 医事課の業務について
～医事算定業務＋クラーク業務（受付）、D P Cの基本的な考え方、
令和2年度診療報酬改訂速報～
医事・経営企画課医事担当／診療情報管理室
- 2020. 1. 15 高精度放射線治療について
－ I M R T、S R Tなど－
放射線科 楠原和朗

